

グラスウール付加断熱施工マニュアル

ここで紹介している付加断熱仕様は、準耐火構造認定仕様(QF045BE-0125)を基本としています。認定仕様書の詳細につきましては認定書をご参照下さい。
外張グラスウールの厚さは45mmの場合の仕様例です。

INDEX

■ 付加断熱の施工例

■ 施工手順

手順① 構造用合板の施工

手順② 横胴縁の施工

手順③ 外張用グラスウールの施工

手順④ 水切り・透湿防水シートの施工

手順⑤ 通気胴縁の施工

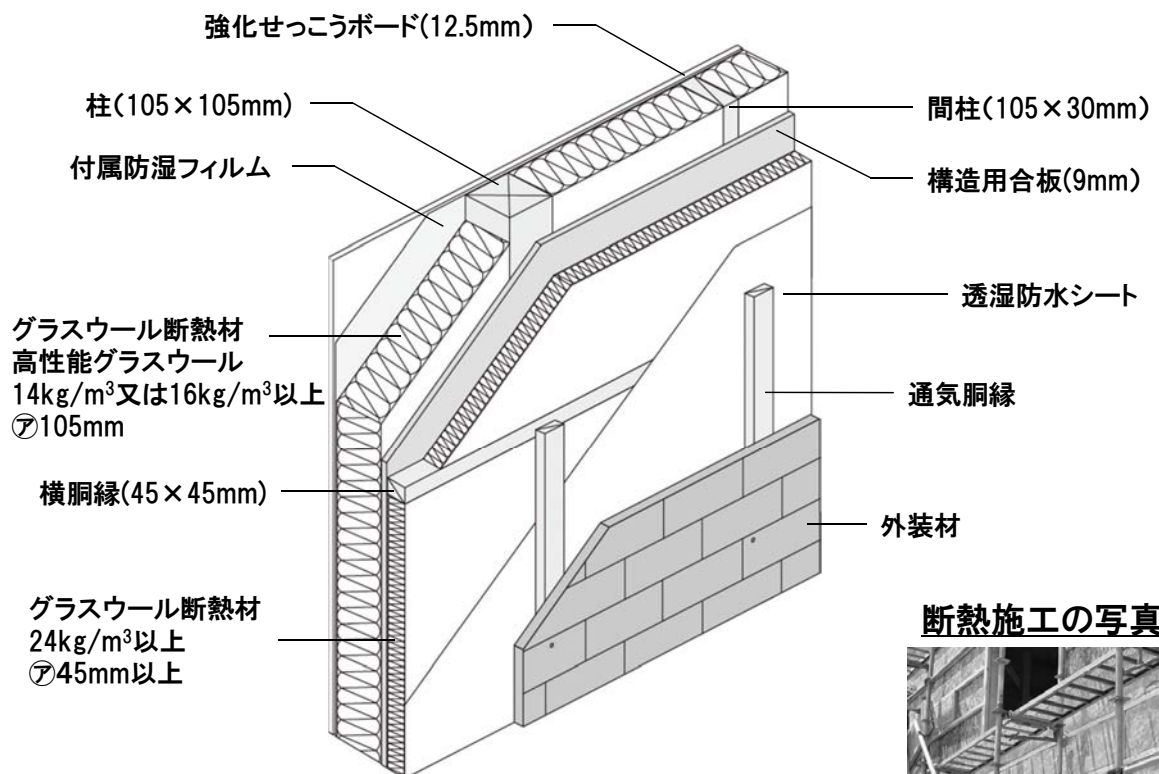
手順⑥ 開口部の施工

手順⑦ 充填用グラスウールの施工

参考 納まり図(壁と天井の取合い・玄関土間)



付加断熱の施工例

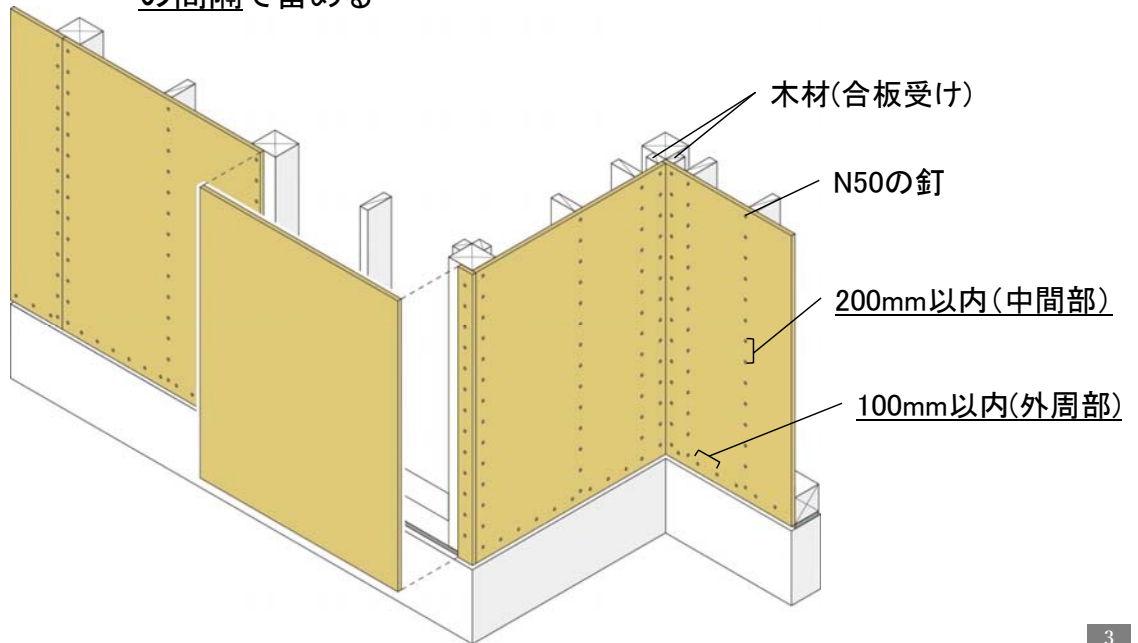


断熱施工の写真



手順① 構造用合板の施工

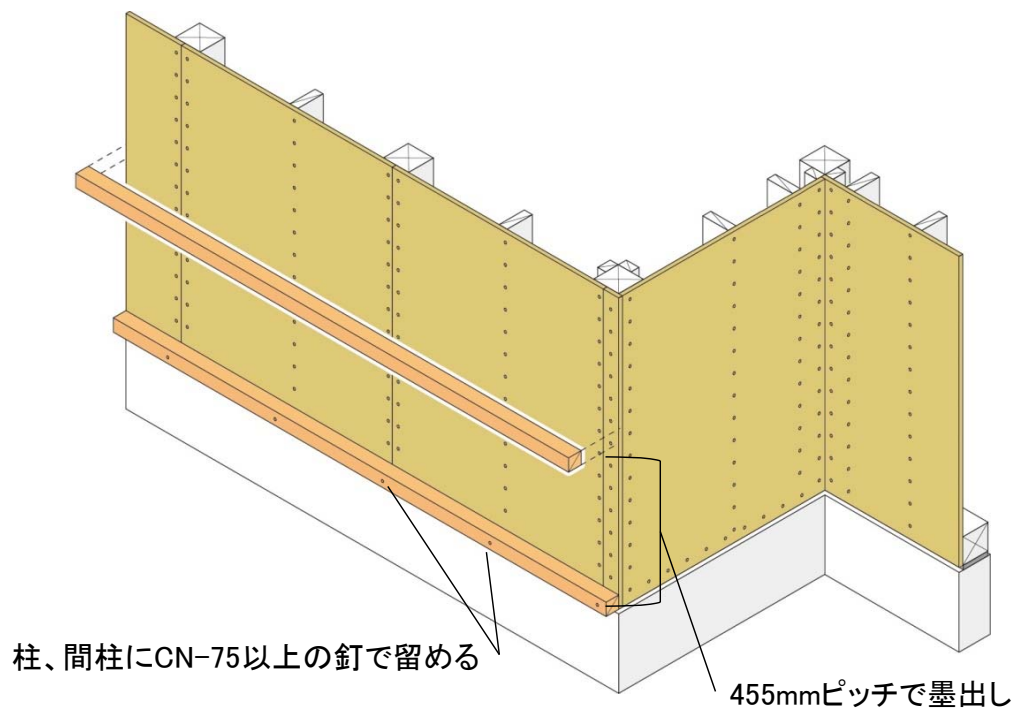
- 1) 入隅、出隅に木材(合板受け)を施工する
- 2) 構造用合板は9mm以上を用いる
- 3) 構造用合板はN50以上[鉄丸くぎ(Φ2.75mm以上× $\varnothing$ 50mm)]
タッピンねじ(Φ2.78mm以上× $\varnothing$ 25mm以上)を用いて留める
- 4) 釘の間隔は周辺部100mm以下の間隔、中間部200mm以下の間隔で留める



3

手順② 横胴縁の施工

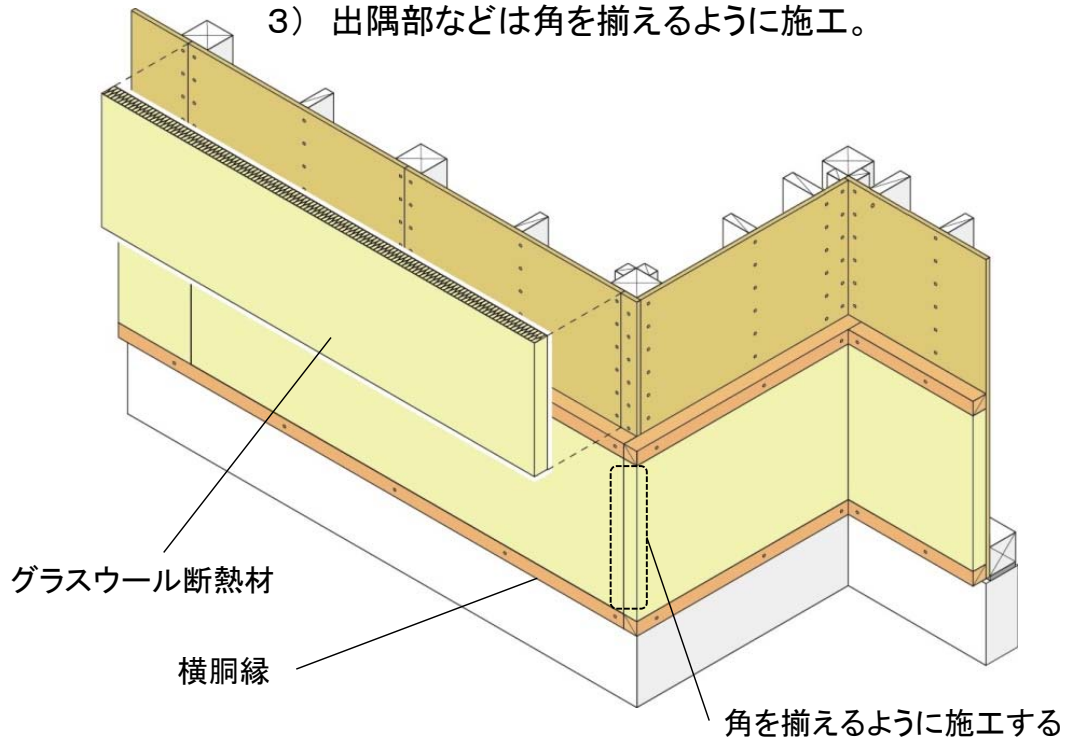
- 1) 横胴縁は45×45mm(断熱厚に合わせる)の木材を使用
- 2) 横胴縁の墨出しを455mmピッチで行う
(透湿防水シートの上下方向の重ね白は90mm以上)
- 3) 横胴縁を柱及び間柱にCN75以上の釘を用いて留める



4

手順③ 外張用グラスウールの施工

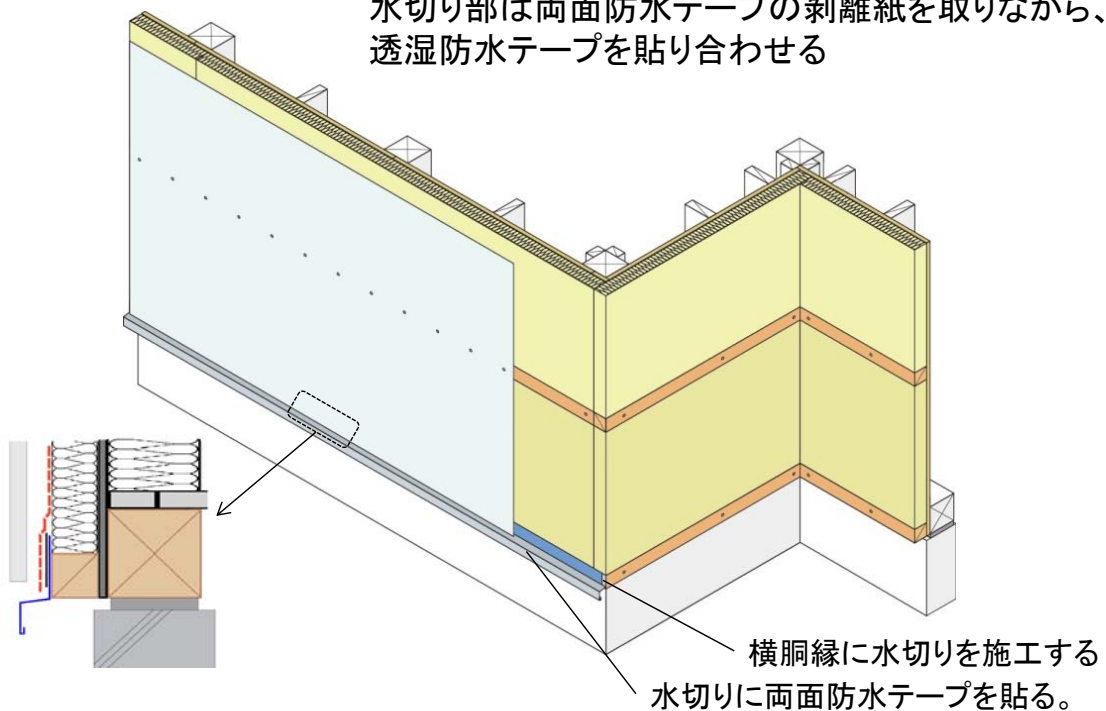
- 1) グラスウール断熱材は 24kg/m^3 以上㊦45mm以上を使用
- 2) 下端から順にグラスウール断熱材と横胴縁を交互に施工。
- 3) 出隅部などは角を揃えるように施工。



5

手順④ 水切り・透湿防水シートの施工

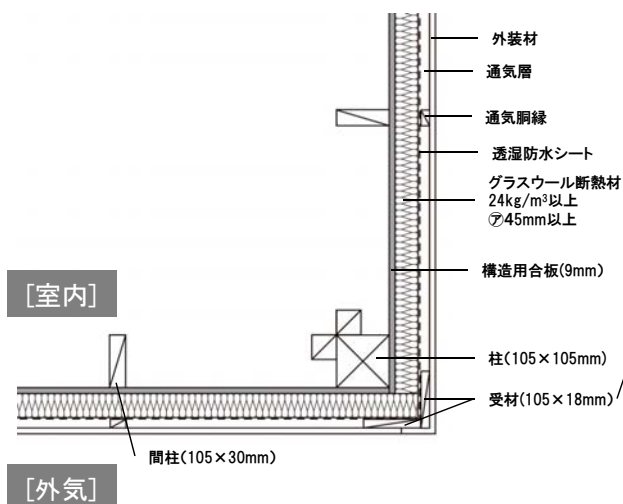
- 1) 透湿防水シートはJIS A 6111適合品を使用
- 2) 最下段の横胴縁に水切りを施工
- 3) 水切りに両面防水テープを貼る
- 4) 透湿防水シートを横胴縁に留め付ける。
水切り部は両面防水テープの剥離紙を取りながら、
透湿防水テープを貼り合わせる



6

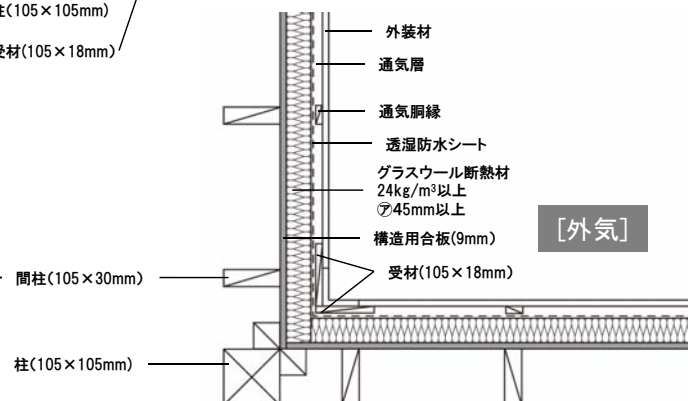
手順⑤ 通気胴縁の施工

壁（出隅廻り）



出隅部は隅柱にかかるよう幅の広い受材が必要です。

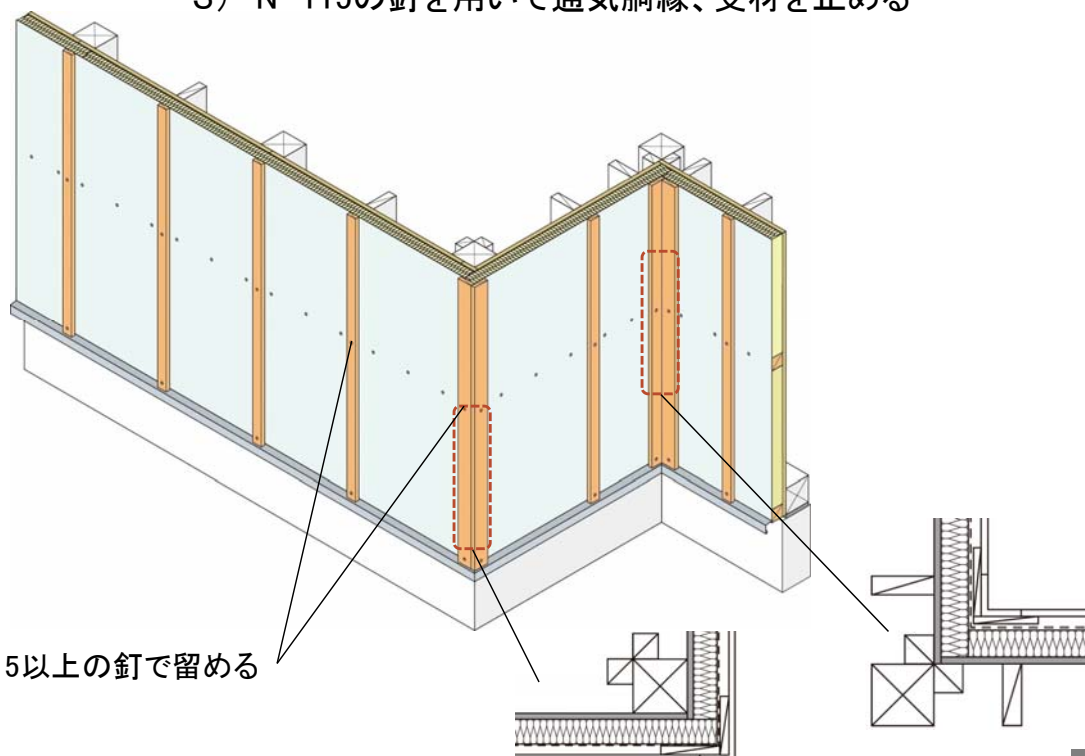
壁（入隅廻り）



入隅部は大きめの受材とし、その受け材として間柱の追加設置が必要です

手順⑤ 通気胴縁の施工

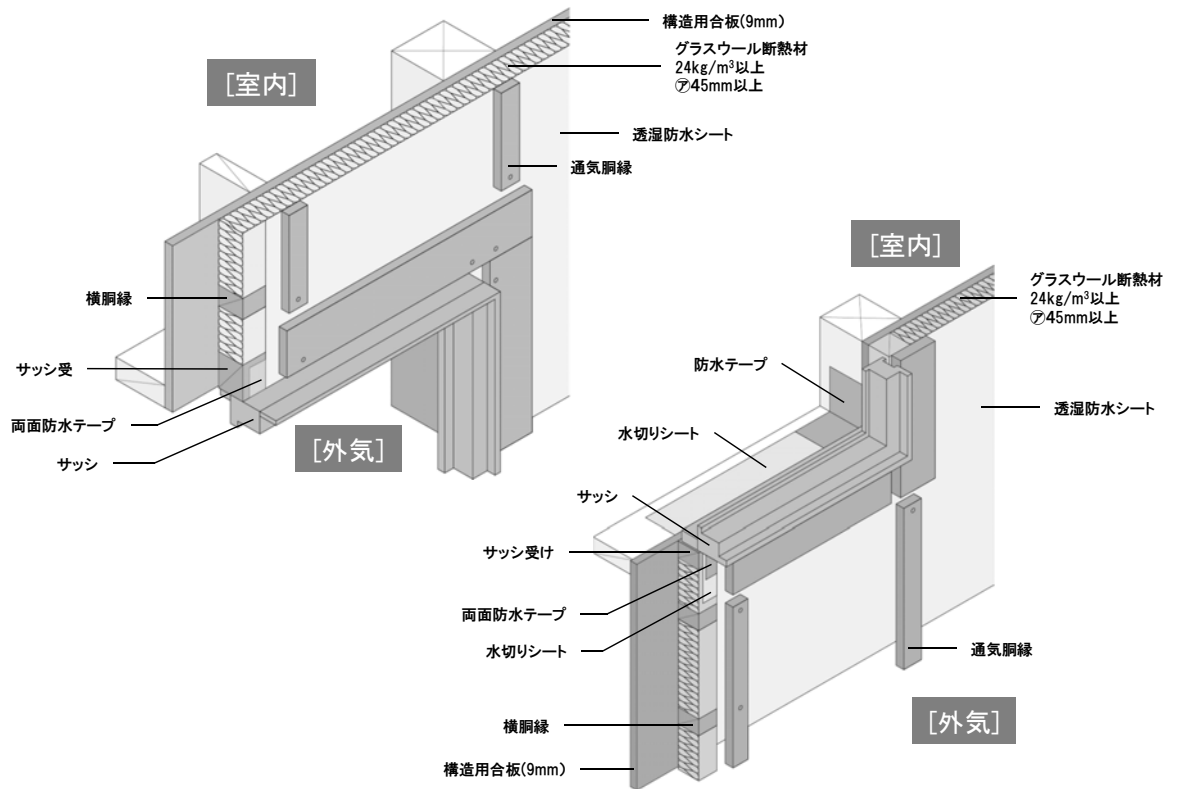
- 1) 柱、間柱には45×18mmの通気胴縁を使用
- 2) 出隅、入隅には105×18mmの受材を使用
- 3) N-115の釘を用いて通気胴縁、受材を止める



N-115以上の釘で留める

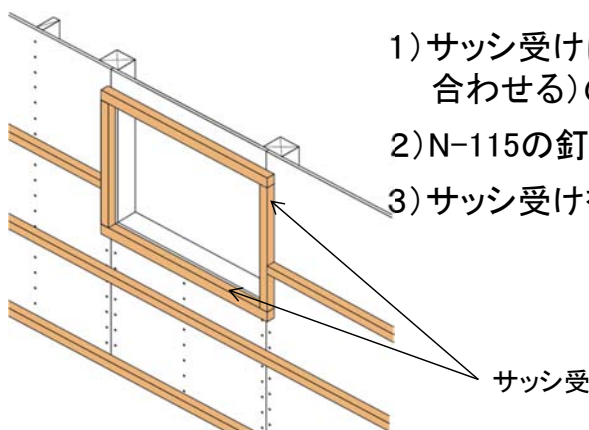
開口部の施工（納まり図）

開口部



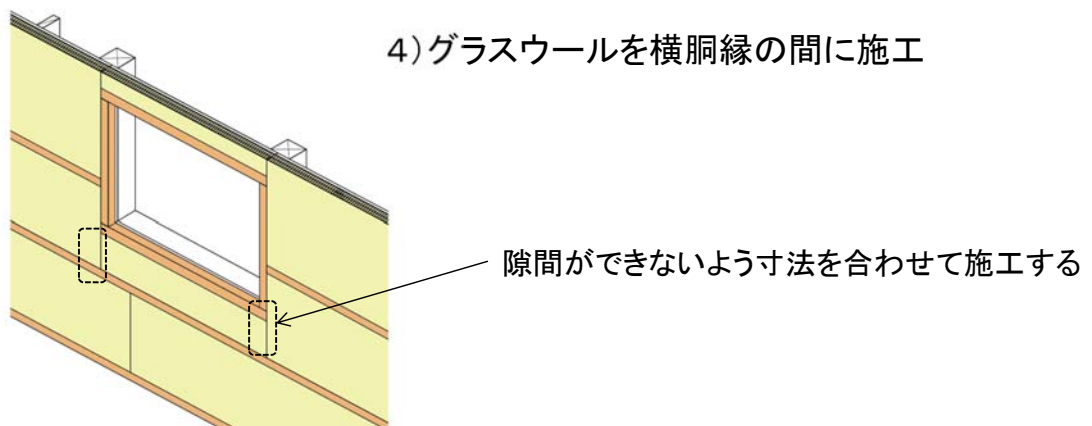
9

手順⑥ 開口部廻りの施工 I



- 1) サッシ受けは45×45mm(断熱材の厚さに合わせる)の木材を使用
- 2) N-115の釘を使用
- 3) サッシ受けを柱、間柱、窓台に釘を用いて留める

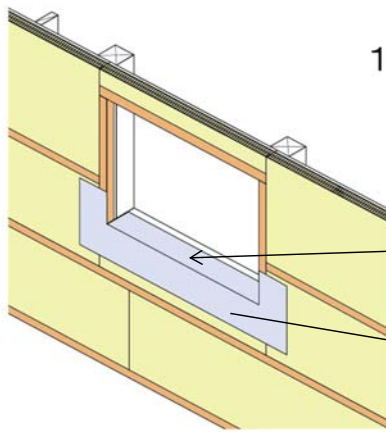
4) グラスウールを横胴縁の間に施工



10

手順⑥ 開口部の施工Ⅱ

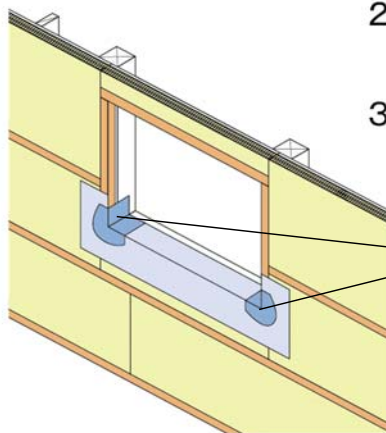
- 1) 窓台を覆うように水切りシートを開口部隅まで施工
(水切りシート下部はタッカー等で固定しない)



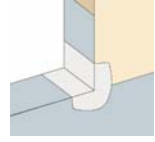
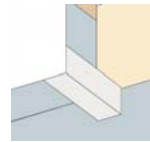
カットした部分を室内側へ折り込む

水切りシート

- 2) 防水テープを半分に折り、剥離紙を剥がし、窓台・柱に貼る
- 3) 防水テープを外壁に貼る



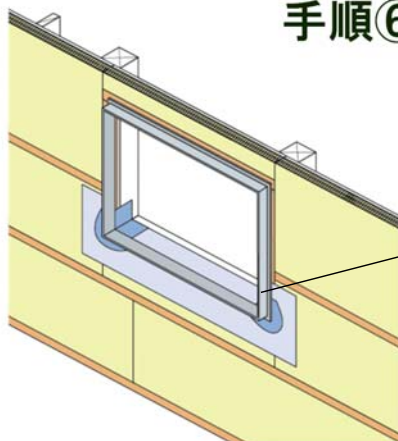
防水テープ



11

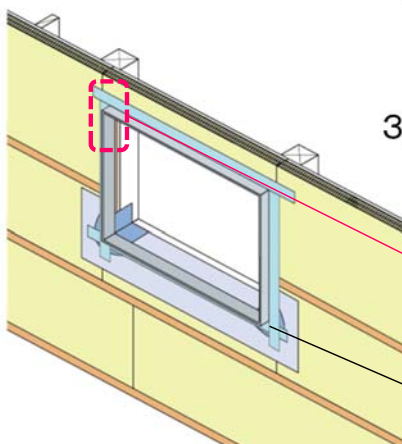
手順⑥ 開口部の施工Ⅲ

- 1) サッシ枠を受け材に取り付ける



サッシ枠

- 2) サッシ枠に両面粘着防水テープを貼る。
この時防水テープは、下部、側面、上部に順番で貼る
- 3) 防水テープは、サッシ枠のフィンと柱・間柱に跨るように貼る



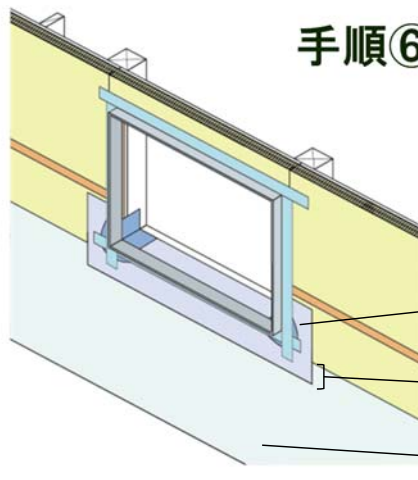
上部へ突き抜けない

両面粘着防水テープ

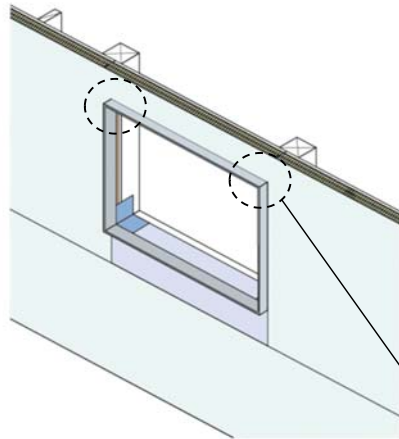
12

手順⑥ 開口部の施工Ⅳ

- 1) 水切りシートの下に透湿防水シートを差し込むように貼る(水切りシートと透湿防水シートの重なりは90mm以上)

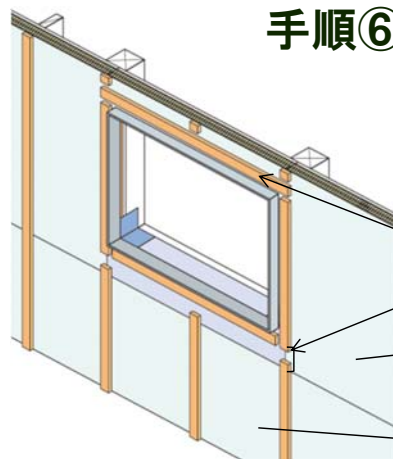


- 2) 両面粘着防水テープの剥離紙を剥がす。
- 3) 剥離紙を剥がした防水テープの上に透湿防水シートを圧着する
- 4) サッシの上枠に切れ目を入れた場合は、切れ目を覆うように防水テープを貼る



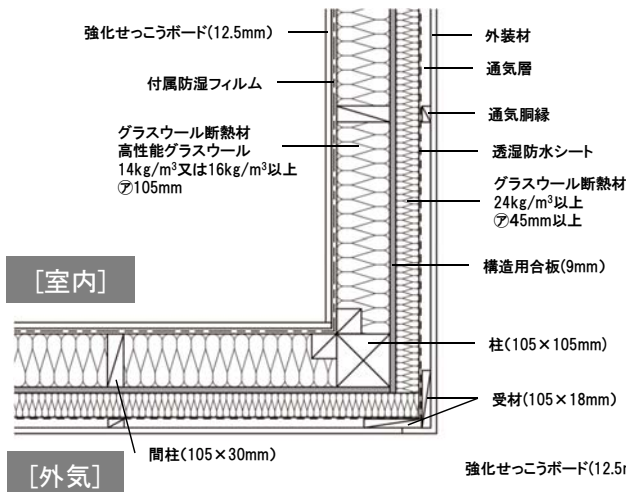
手順⑥ 開口部の施工Ⅴ

- 1) 開口部廻りの通気、排気経路を塞がないように通気胴縁を施工する

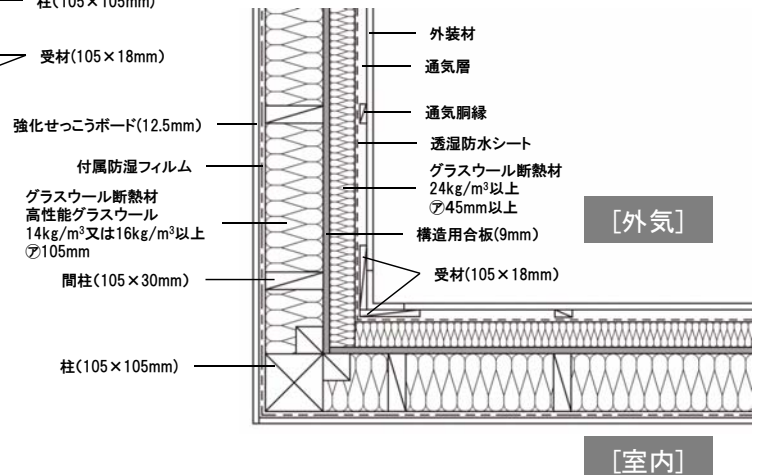


手順⑦ 充填用グラスウールの施工(納まり図)

壁(出隅廻り)



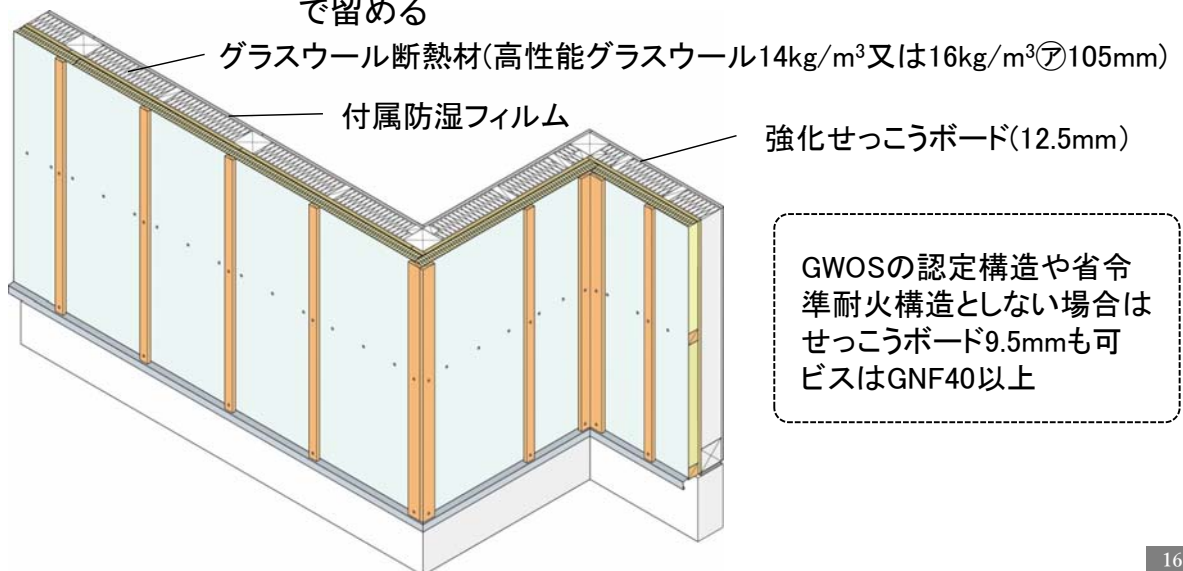
壁(入隅廻り)



15

手順⑦ 充填用グラスウールの施工

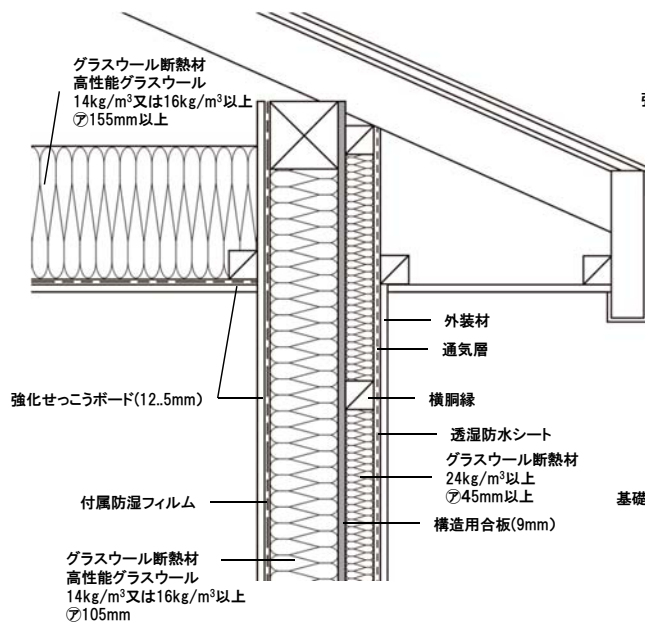
- 1) 充填断熱材は外張りの施工後に行う
- 2) 柱-間柱、間柱-間柱間に付属防湿フィルム付グラスウール断熱材(高性能グラスウール14kg/m³又は16kg/m³㊦105mm)を施工
- 3) 強化せっこうボードは12.5mmを用いる
- 4) GNS50以上で留める
- 5) 釘の間隔は周辺部150mm以下、中間部200mm以下の間隔で留める



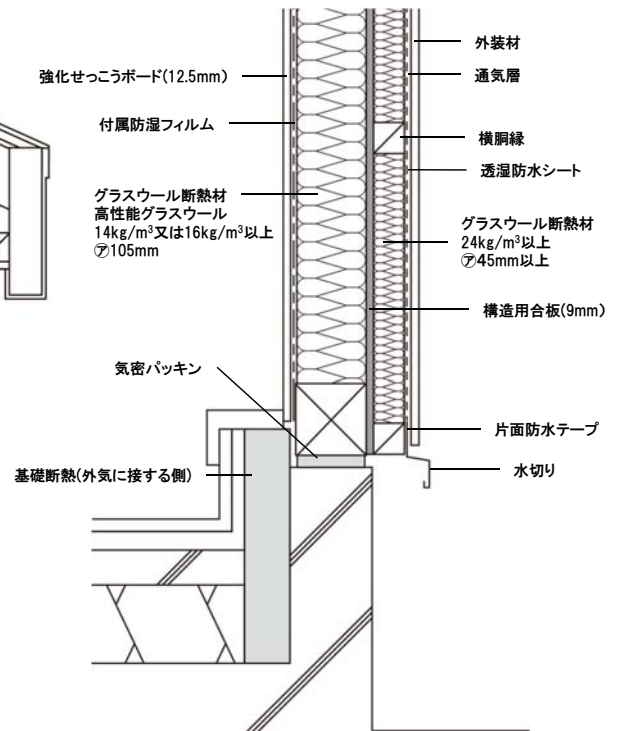
16

参考__納まり図(壁と天井の取合い・玄関土間)

壁と天井の取合い



玄関土間



17

作成:2018年12月

18